

三角巾を利用したプライバシー保護方法

■ AED を使用した心肺蘇生法を実施する際には、次の手順の中でプライバシー保護に努めてください。

① 胸骨圧迫を優先して行う
※服の上から実施



② AED 内に三角巾2枚
入っています



③ 三角巾を使用して
プライバシー保護する



④ パッドを装着する
(右鎖骨の下部分)



⑤ パッドを装着する
(左側胸部付近)



⑥ AED メッセージに従い
電気ショックを実施する

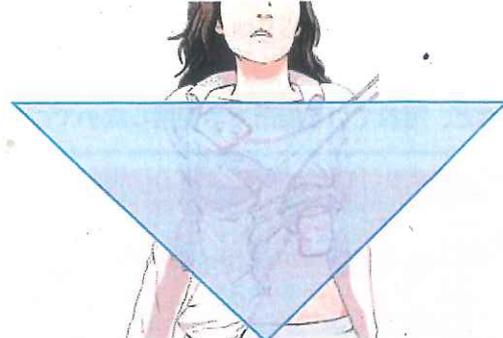


【注 意 点】

注意① 服を脱がさず AED パッドを装着
※プライバシー保護より AED を優先



注意② 三角巾をかけ、プライバシー保護する
※透ける場合などは三角巾を 2 枚使用



女性にAEDを使うのを ためらわないで!!

服をすべて脱がさなくても、AEDは使用できます!

パッドを

素肌に直接貼り付ける
ことができているならば、下着を

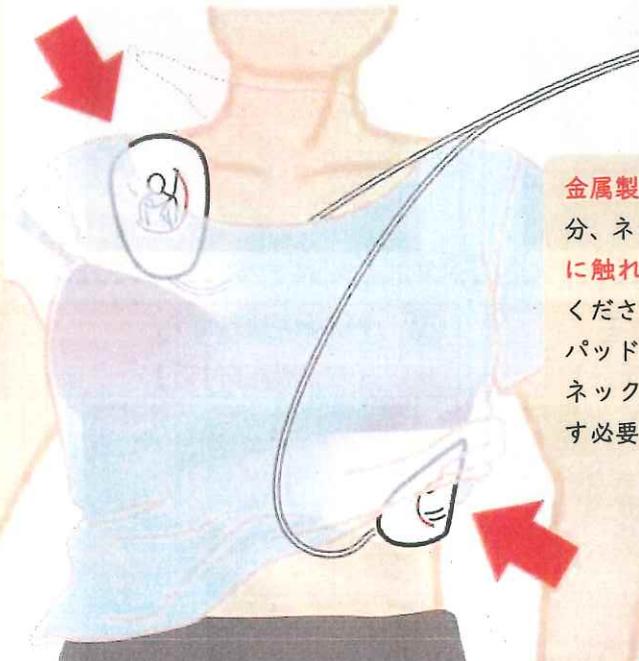
外す必要はありません。

服の下で下着をずらして、

右の鎖骨の下と

左わき腹のあたりに

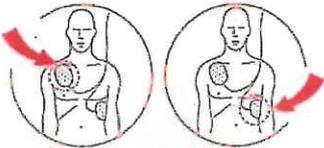
貼ることで対応できます。



金属製品(下着のワイヤー部分、ネックレス等)はパッドに触れさせないようにしてください。

パッドに触れていなければ、ネックレスは無理に取り外す必要はありません。

AEDのパッドに描かれているイラストをご参照ください。



パッドを貼った後に、上から上着やタオルなどをかけても大丈夫です

その他の注意事項

- * 汗などで胸が濡れている場合は、水分を拭き取ってください。
- * 電極パッドを貼る部分に貼り薬(湿布等)が貼られている場合は、貼り薬を剥がしてください。
- * ペースメーカー等が植え込まれている場合(胸に硬いこぶのようなでっぱりが見える)は、このでっぱりを避けて電極パッドを貼ってください。
- * 車内など、揺れている場所では使用しないでください。

重要なことは
電気ショックの時間を
遅らせないことです

電気ショックが1分遅れるごとに
救命率は10%ずつ低下します

完璧でなくても構わないので、命を助けるために、
勇気を持って一步を踏み出してください